

ひだまり通信

館内の展示

コーナー名

●『荒木俊馬と大宇宙の旅』 メイン

鹿本町来民出身で京都産業大学の創設者荒木俊馬さん関連の本を展示します。

●『男女共同参画講座』 やまが情報発信課

「輝きたい女性のための自分力アップ講座」など他2講座あります。

●9月1日は『防災の日』 ウェルカム

8月30日から9月5日は防災週間です。

●『このミステリーがすごい!』 文学おすすめ

このミステリーがすごい! 大賞受賞作品等を展示します。

●『世界文学の旅』 児童おすすめ

世界の児童文学の旅へ、さあみなさん一緒に出かけましょう!

●『つきのえほん』 きせつのはな

月の模様、日本では「うさぎ」、ヨーロッパでは「女の人」、中国では「カエル」?!…にみえるそう。



あらかしとしま

山鹿の偉人 荒木俊馬 (1897~1978)

かつて日本の宇宙物理学の第一人者であり、戦後子ども向けに多くの宇宙の神秘についての本を書いた。日本の将来を背負う人材育成のための大学を創ろうと決意。昭和40年、京都産業大学を創設する。

エピソード①

1922年12月京都帝国大学でアインシュタイン博士の講演会が行われ、俊馬は学生総代としてドイツ語で歓迎の言葉を述べました。1929年、俊馬は欧州に留学。そこでも素晴らしい語学の才能を発揮し短期間でイタリア語やドイツ語を流暢に話すことができたそうです。

エピソード②

1928年京都帝国大学の助教授時代、のちにノーベル賞を受ける湯川秀樹博士と朝永振一郎博士が物理学科の学生だった頃、俊馬は最新の「量子力学」の講義を行いました。その時の講義を『非常に印象が強い名講義だった』と2人が対談で話している記録が残っています。

エピソード③

『銀河鉄道999』『宇宙戦艦ヤマト』で知られる漫画家松本零士氏は小学6年の時、俊馬が書いた『大宇宙の旅』を読んで宇宙への眼が開かれたそうです。2014年2月、山鹿八千代座で講演会“荒木俊馬と私”が開かれました。

知って得する!
図書館ルールシリーズ②

図書館のHP→マイページ→My本棚→借りました本から、過去に借りました本のリストが確認できるんです!!

利用照会メニュー

- 貸出中一覧
- 予約中一覧
- お気に入り一覧
- My本棚
- 読書マラソン

前に借りたあの本の題名は? このシリーズどこまで読んだっけ? などの「?」が解決!!



※利用者ポータルのご利用には利用者番号とパスワードの登録が必要です。